

15

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「鑑真」。

この人物は、①たび重なる航海の失敗の末に目の自由を失ってもあきらめず、ついには来日を果たした、奈良時代の中国のお坊さんである。奈良市にある唐招提寺というお寺をつくったことでも知られている。

私は学校の社会の時間で初めて「鑑真」を知った。子どもの頃は一度失敗するとすぐに投げ出してしまふことが多かったため、自分とは正反対だと思い、その時は教科書に目を向けなかった。学校の授業で歴史上の②偉人について調べることになり、ふと「鑑真」のことを思い出した。

歴史の教科書には「数々の苦勞を乗り越えた末、来日に成功した」とあった。日本への旅に五度も失敗しながら、苦勞して来日する必要があるのだらうかと思った。しかし、そうして挑戦し続けたことで偉人と呼ばれるようになったのだらう。調べていくうちに「鑑真」のすごさを知った。

偉人というのは、偉大なことを成しとげるために挑戦し続けることができた人のことを言うのではないかと私は思う。人にはそれぞれ夢がある。その夢がかなうかどうかは挑戦している時には分からない。しかし、努力が報われることを信じて努力を続けること。それが何より大切なことだと、私は「鑑真」の人生を通して学んだ。

【「文集はちおうじの子」より】

問1 線部①たび重なる航海の失敗とありますが、「鑑真」は何回失敗したと文章には書いてありますか。

回

問2 線部②偉人とはどのような人だと筆者は言っていますか。次から選びなさい。

ア 奈良時代の中国のお坊さんで、奈良市にある唐招提寺というお寺をつくった人

イ 一度失敗するとすぐに投げ出してしまふことが多い人

ウ 偉大なことを成しとげるために挑戦し続けることができた人

エ 努力が報われることを信じて努力を続けることができた人

